

令和 4 年 度

出資団体監査結果報告書

(アドバンス寝屋川マネジメント株式会社)

寝屋川市監査委員

令和4年度 出資団体監査

1 監査の目的

出資団体の出納その他の事務の執行が、当該財政的援助等の目的に沿って行われているかについて検証することを目的とする。

2 監査の対象

アドバンス寝屋川マネジメント株式会社

3 監査の範囲

寝屋川市が出資しているアドバンス寝屋川マネジメント株式会社における第37期事業年度（令和3年6月から令和4年5月まで）及び第38期事業年度のうち令和4年6月から8月までの出納その他の事務の執行

4 監査の期間

令和4年9月30日～令和5年3月28日

5 監査の方法

監査は、出納その他の事務が、当該団体の設立目的に沿い関係法令及び事前に提出された関係書類（定款、規程、決算報告書等）に基づき適正かつ効率的に行われているかを主眼とし、監査委員の説明聴取を実施するとともに、元帳、証書、伝票、その他関係帳簿等の照合、点検、計数確認などの方法により実施した。

6 監査の対象の概要

(1) 商号

アドバンス寝屋川マネジメント株式会社

(2) 設立目的、設立日及び商号変更

都市再開発法（昭和 44 年法律第 38 号）に基づく寝屋川市駅前第一種市街地再開発事業により建設された再開発ビル「アドバンスねやがわ」の管理・運営ならびに関連する諸事業に積極的に参画し、寝屋川市商業の発展に貢献することを目的とし、昭和 60 年 9 月 28 日に「アドバンスねやがわ管理株式会社」を設立した。

地域づくり・まちづくりに関すること及びイベントの企画・運営を事業目的に加え、平成 30 年 11 月 1 日に商号を「アドバンス寝屋川マネジメント株式会社」に変更した。

(3) 出資

資本金 4 億円 株主 16 者

出資割合	寝屋川市	1 億 4,400 万円 (36.0%)
	企業等 (15 者)	2 億 5,600 万円 (64.0%)

(4) 組織

役員は、アドバンス寝屋川マネジメント株式会社定款によると取締役 3 人以上、監査役 2 人以上となっており、令和 4 年 5 月 31 日現在、取締役 5 人、監査役 2 人で構成されている。従業員の構成は、社員 8 人（うち嘱託 2 人）、準社員及び現場スタッフ 37 人（事務所勤務の準社員 1 人、駐輪場勤務の現場スタッフ 36 人）となっている。

(5) 事業

アドバンス寝屋川マネジメント株式会社定款において事業目的が次のように定められている。

ア 地域づくり・まちづくりに関すること

イ イベント企画・運営

ウ 都市再生推進法人に関すること

エ 不動産の管理、売買、賃貸及び仲介

オ 駐輪場及び駐車場の管理、運営

カ 公共施設の管理運営についての受託

キ 飲食料品及び物品等の販売

ク テナントに対する販売促進に関する相談

ケ 損害保険代理業

コ その他アからケに付帯する一切の事業

7 寝屋川市との関係

- (1) 資本金4億円のうち36.0%に当たる1億4,400万円を寝屋川市が出資しているほか、運営資金を貸し付け、残高は4億8,236万円である。
- (2) 寝屋川市が設置する有料の自転車駐車場及び自動車駐車場の指定管理者として指定している。
- (3) 寝屋川市駅東側駅前広場エスカレーター運転及び緊急時対応業務委託及び中央図書館周辺駐輪場管理業務委託契約を締結している。
- (4) 寝屋川市が都市再生推進法人として指定し、『官民連携のまちづくり』の推進に関する協定を締結している。

8 財務状況

第37期事業年度における財務状況については、別表1の損益計算書、別表2の貸借対照表及び別表3の株主資本等変動計算書のとおりである。

第37期決算（令和3年6月1日～令和4年5月31日）において630万323円の当期純利益を生じ、前期に引き続き黒字決算となった。利益剰余金の当期末残高は1億6,486万1,986円となっている。

9 監査の結果

監査の結果を総合的にみると、出納その他の事務の執行についてはおおむね適正であり、当該団体の設立目的に沿ったものと認められた。

事業を部門別に見ると、駐輪場部門においては、前期はコロナ禍の影響で売上高が極端に減少していたことが回復基調にあること及び無人化による人件費の削減効果から、前期と比べ経常利益が増加した。一方、地下駐車場部門においては利用率が低いことに加え、減価償却費、管理費及び修繕積立金といった固定費の割合が大きいこと、パークアドバンス部門においてはコロナ禍の影響で利用者数が減少していることから、赤字となっている。

今後とも、事業目的に掲げられた諸事業を積極的に推進し、より一層効率的

な事業運営に取り組むとともに、引き続き健全な経営を行い都市再生推進法人として市のまちづくりに貢献するよう努められたい。

10 意見

アドバンス寝屋川マネジメント株式会社は、寝屋川市と平成 31 年 4 月 1 日付けで金銭消費貸借変更契約を締結し、借入金残高が 11 億 1,000 万円であることを確認している。その後、令和 2 年 10 月 30 日にアドバンスねやがわ一号館 4 階・5 階部分及び地下 2 階部分の寝屋川市への売却額 5 億 9,764 万円を借入金残高と相殺し、さらにアドバンスねやがわ二号館地下 1 階の一部区画を民間会社に売却することによって、令和 4 年 5 月 31 日付けで 3,000 万円の繰上償還を行い、借入金残高は 4 億 8,236 万円となっている。

現在は、平成 31 年 4 月 1 日に締結した金銭消費貸借変更契約により償還することとし、償還期日は令和 6 年 4 月 1 日であるが、これまで令和 2 年度の借入金との相殺を除けば、前記の臨時的な一部繰上償還 3,000 万円のみであり、繰り上げ償還延伸協議を繰り返すことにより償還実績はこれ以外にない。

借入金については、前記した金銭消費貸借変更契約に基づき、寝屋川市の歳入として予算措置がなされていること、加えて、アドバンス寝屋川マネジメント株式会社の経営状況から、繰上償還により直ちに同社の経営が困難な状態に陥るとは言い難いと思料する。

以上のことから借入金については、今後、財務諸表や経営計画等に基づき寝屋川市と具体的な協議を行い、償還に真摯に努められたい。

損益計算書

令和3年6月1日～令和4年5月31日

金額：円

純売上高

受取管理費	37,103,660
受取手数料	5,570,206
受取家賃	79,367,872
地下駐車場収入	13,578,867
パークアドバンス収入	53,406,106
高架下駐輪場収入	33,342,847
ラック式駐輪場収入	8,127,105
指定管理駐輪場収入	65,751,300
指定管理高架下駐車場収入	14,535,710

純売上高合計	310,783,673
--------	-------------

売上原価

チケット作成費	2,185,040
---------	-----------

売上原価合計	2,185,040
--------	-----------

売上総利益	308,598,633
-------	-------------

販売費及び一般管理費

販売費及び一般管理費	282,240,674
------------	-------------

営業利益	26,357,959
------	------------

営業外収益

受取利息	28,353
雑収入	23,951,428

営業外収益合計	23,979,781
---------	------------

営業外費用

支払利息	51,236
雑損失	18,000

営業外費用合計	69,236
---------	--------

経常利益

経常利益	50,268,504
------	------------

特別利益

特別利益合計	0
--------	---

特別損失

固定資産売却損	41,652,374
---------	------------

特別損失合計	41,652,374
--------	------------

税引前当期純利益

税引前当期純利益	8,616,130
----------	-----------

法人税・住民税及び事業税

法人税・住民税及び事業税	4,132,100
--------------	-----------

法人税等調整額

法人税等調整額	△ 1,816,293
---------	-------------

当期純利益

当期純利益	6,300,323
-------	-----------

貸借対照表

令和4年5月31日現在

金額：円

勘定科目	金額	勘定科目	金額
資産の部		負債の部	
流動資産		流動負債	
現金	1,074,060	預り金	28,040,251
当座預金	101,472,468	源泉等預り金	867,324
普通預金	54,078,899	前受金	15,505,580
定期預金	319,276,031	未払金	6,340,883
未収入金	15,908,394	未払給与	3,163,494
繰延税金資産	1,641,796	未払法人税等	4,132,100
前払費用	3,047,336	賞与引当金	3,500,000
未収還付消費税	24,205,000	流動負債合計	61,549,632
流動資産合計	520,703,984	固定負債	
有形固定資産		長期借入金	482,360,000
土地	391,068,083	預り保証金	46,854,400
建物	152,845,524	退職給付引当金	18,383,430
建物附属設備	17,658,038	固定負債合計	547,597,830
構築物	1,057,763	負債の部合計	609,147,462
車両運搬具	1,853,298	純資産の部	
器具備品	66,654,990	株主資本	
有形固定資産計	631,137,696	資本金	400,000,000
無形固定資産		別途積立金	0
電話加入権	1	繰越利益剰余金	164,861,986
ソフトウェア	437,975	利益剰余金合計	164,861,986
無形固定資産計	437,976	株主資本合計	564,861,986
投資その他の資産		純資産の部合計	564,861,986
出資金	50,000		
差入保証金	16,212,560		
長期繰延税金資産	5,467,232		
投資その他の資産計	21,729,792		
固定資産合計	653,305,464		
資産の部合計	1,174,009,448	負債及び純資産の部合計	1,174,009,448

株主資本等変動計算書

令和3年6月1日～令和4年5月31日

(単位 円)

株主資本			
資本金	前期末残高及び当期末残高		400,000,000
利益剰余金			
その他利益剰余金			
別途積立金	前期末残高		0
	当期変動額		0
	当期末残高		0
	繰越利益剰余金	前期末残高	158,561,663
		当期変動額	当期純損益金 6,300,323
			別途積立金 0
		当期末残高	164,861,986
	利益剰余金	前期末残高	158,561,663
		当期変動額	6,300,323
		当期末残高	164,861,986
	株主資本	前期末残高	558,561,663
		当期変動額	6,300,323
		当期末残高	564,861,986
純資産の部	前期末残高		558,561,663
	当期変動額		6,300,323
	当期末残高		564,861,986